コンピューターの準備

HP ノートブック コンピューター

初版： 2011 年 8 月

製品番号： 657767-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

1 ようこそ

- 新機能
- 情報の確認

コンピューターをセットアップして登録した後に、以下の手順を実行することが重要です。

1. 有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。 詳しくは、18 ページの「ネットワーク」を参照してください。
2. ウィルス対策ソフトウェアを更新します。 詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。 このガイドを表示する手順については、3 ページの「情報の確認」を参照してください。
3. リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成します。 詳しくは、38 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。
4. コンピューター本体を確認します。 詳しくは、5 ページの「コンピューターの概要」および22 ページの「キーボードおよびポインティング デバイス」を参照してください。
5. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択して、コンピューターにすでにインストールされているソフトウェアを確認します。

新機能

HP Beats Audio

[HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオプロファイルです。 [HP Beats Audio]は、初期設定で有効に設定されています。

▲ [HP Beats Audio]の低音設定を有効または無効にするには、fn + b キーを押します。

注記： 低音設定の表示と調整は Windows®オペレーティング システムでも行うことができます。低音のプロパティを表示して調整するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Beats Audio Control Panel]**（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択します。

以下の表に、fn + b キーを押したときに表示される[HP Beats Audio]アイコンおよびその意味を説明します。

アイコン	説明
	[HP Beats Audio]は有効に設定されています
	[HP Beats Audio]は無効に設定されています

情報の確認

コンピューターには、各種タスクの実行に役立つ複数のリソースが用意されています。

リソース	内容
コンピューターのセットアップの手順のポスター	• コンピューターのセットアップ方法 • コンピューターの各部の名称
『コンピューターの準備』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• コンピューターの機能 • 以下の内容に対する各手順： 　◦ 無線ネットワークへの接続 　◦ キーボードおよびポインティング デバイスの使用 　◦ ハードドライブおよびメモリ モジュールの交換またはアップグレード 　◦ バックアップおよび復元の実行 　◦ サポート窓口へのお問い合わせ • コンピューターの仕様
『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• 電源の管理機能 • 以下の内容に対する各手順： 　◦ バッテリ寿命の最大化 　◦ コンピューターのマルチメディア機能の使用 　◦ コンピューターの保護 　◦ コンピューターの手入れ 　◦ ソフトウェアの更新
[ヘルプとサポート] [ヘルプとサポート]にアクセスするには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択してください **注記：**　お住まいの国または地域のサポート情報については、http://www.hp.com/support/でお住まいの国または地域を選択して、画面の説明に沿って操作してください	• オペレーティング システムの情報 • ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート • トラブルシューティング ツール • サポート窓口へのお問い合わせ手順
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します	• 規定および安全に関する情報 • バッテリの処分に関する情報

リソース	内容
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します または http://www.hp.com/ergo/から[日本語]を選択します	• 正しい作業環境の整え方 • 快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン • 電気的および物理的安全基準に関する情報
『サービスおよびサポートを受けるには』(日本以外の国や地域の問い合わせ先については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』(英語版)を参照してください) この冊子はお使いのコンピューターに付属しています	HP のサポート窓口の電話番号
HP の Web サイト この Web サイトを表示するには、http://www.hp.com/support/にアクセスします	• サポート窓口の情報 • 部品の購入に関する情報 • ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート • コンピューターのオプション製品に関する情報
限定保証* オンラインの保証を表示するには、以下の操作を行います。 **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザー ガイド]**の順に選択します または http://www.hp.com/go/orderdocuments/から[日本(日本語)]を選択します	保証に関する情報

*お使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されている電子マニュアルまたは製品に同梱されている CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が同梱されています。 また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に同梱されている国や地域もあります。 保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments/でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- **北米**:Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd, Boise, ID 83714, USA
- **ヨーロッパ、中東、アフリカ**:Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- **アジア太平洋**:Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

保証規定の印刷物のコピーを請求する場合は、製品番号および保証期間(シリアル番号ラベルに記載されています)、ならびにお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

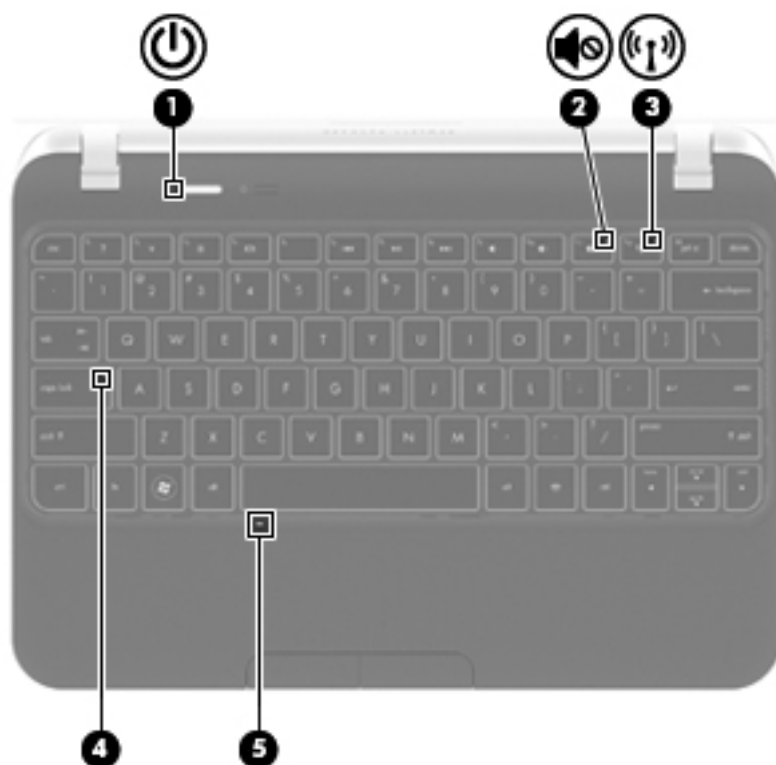
重要: 上記の住所にお使いの HP 製品を返送しないでください。 製品サポートについては、お使いの製品のホーム ページ(http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html)を参照してください。

2 コンピューターの概要

表面の各部

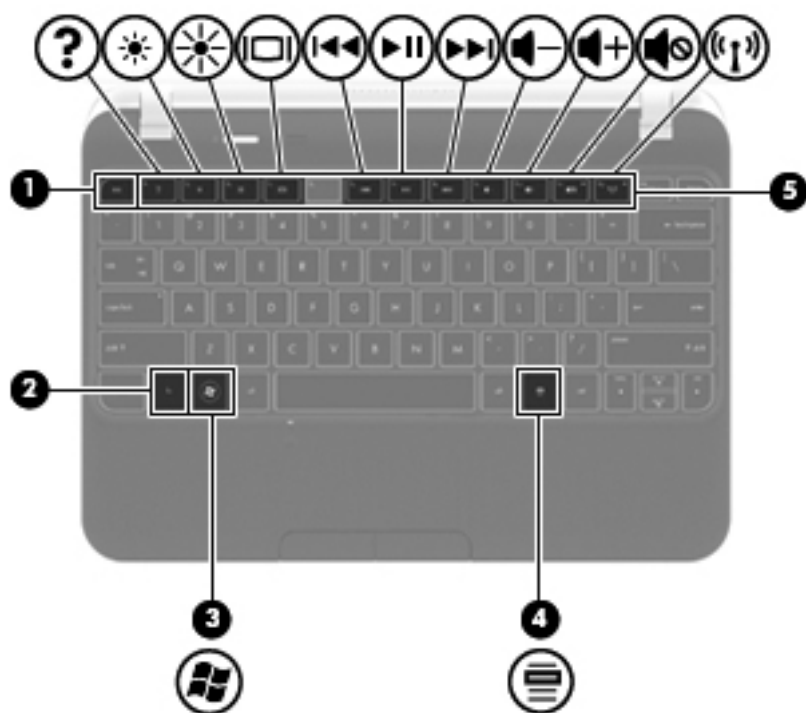
タッチパッド

名称		説明
(1)	タッチパッド ランプ	● 点灯： タッチパッドがオフになっています ● 消灯： タッチパッドがオンになっています
(2)	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします。 タッチパッドをオンまたはオフにするには、タッチパッド オン/オフ ボタンをすばやくダブルタップします
(3)	タッチパッド ゾーン	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(5)	右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ランプ

名称			説明
(1)	⏻	電源ランプ	• 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(2)		ミュート（消音）ランプ	• オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっています • 消灯：コンピューターのサウンドがオンになっています
(3)		無線ランプ	• 白色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線LAN）デバイスやBluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています • オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(4)		Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっています
(5)		タッチパッド ランプ	• 点灯：タッチパッドがオフになっています • 消灯：タッチパッドがオンになっています

ボタン

名称			説明
（1）		電源ボタン	● コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります ● コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます ● コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します ● コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程押したままにすると、コンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しく調べるには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択するか、または『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照します
（2）		QuickWeb ボタン（一部のモデルのみ）	● コンピューターの電源が切れているときまたはハイバネーション状態のときにこのボタンを押すと、[HP QuickWeb]が起動します ● コンピューターが Microsoft® Windows を実行しているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します ● コンピューターが[HP QuickWeb]を実行しているときにこのボタンを押すと、Web ブラウザーが起動します [HP QuickWeb]を使用すると、インターネットを参照したり、[Skype]で他の人と連絡を取ったり、[HP QuickWeb]のその他のプログラムを使用したりできます。 コンピューターの電源が切れているとき、またはハイバネーション状態のときに QuickWeb ボタンを押すと、オペレーティング システムの起動を待たなくてもこれらの機能にすぐにアクセスできます **注記：** 詳しくは、16 ページの「HP QuickWeb（一部のモデルのみ）」の項目および[HP QuickWeb]のヘルプを参照してください。 [HP QuickWeb]ソフトウェアがインストールされていないコンピューターでは、このボタンを押しても[HP QuickWeb]は起動せず、[HP QuickWeb]の操作や機能は実行されません

キー

名称			説明
(1)		esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)		fn キー	b キー、操作キー、または esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)		Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4)		Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカット メニューを表示します
(5)		操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します

前面の各部

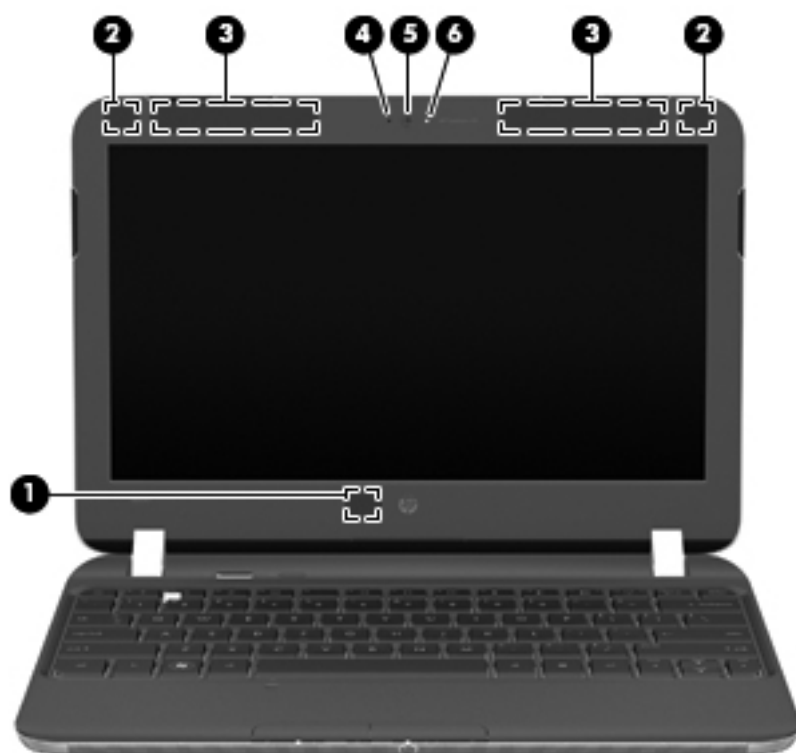
名称	説明
スピーカー（×2）	サウンドを出力します

右側面の各部

名称			説明
(1)		メディア スロット	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています ● マルチメディアカード ● SD（Secure Digital）カード ● SDHC（Secure Digital High-Capacity）カード ● SDXC（Secure Digital Extended Capacity）カード
(2)		オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。 安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(3)		オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(4)		USB 2.0 コネクタ（×2）	別売の USB 2.0 デバイスを接続します
(5)		外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(6)		RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します

左側面の各部

名称			説明
(1)		電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(2)		バッテリ ランプ	● 白色： コンピューターは外部電源に接続されています。 バッテリが取り付けられている場合、そのバッテリは完全に充電されています ● オレンジ色： コンピューターは外部電源に接続され、バッテリが充電中です ● 消灯： コンピューターは外部電源に接続されていません ● 点滅： コンピューターがスリープ状態になっています
(3)		セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(4)		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。 通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)		ハードドライブ ランプ	● 白色で点滅： ハードドライブにアクセスしています ● オレンジ色：HP プロテクトスマート テクノロジーによってハードドライブが一時停止しています 注記： HP プロテクトスマート テクノロジーによるハードドライブの保護について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください
(6)	HDMI	HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、または対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します
(7)		USB 2.0 コネクタ	別売の USB 2.0 デバイスを接続します

ディスプレイの各部

名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れるかスリープが開始します 注記： ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
(2)	無線 LAN アンテナ（×2）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(3)	無線 WAN アンテナ（×2）*（一部のモデルのみ）	無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(4)	内蔵マイク	サウンドを録音します
(5)	Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします Web カメラを使用するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Communication and Chat]**（通信とチャット）→**[CyberLink YouCam]**の順に選択します
(6)	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。 転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。 お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。 これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

裏面の各部

名称		説明
(1)	バッテリ ベイ	バッテリが装着されています
(2)	SIM スロット（一部のモデルのみ）	無線 SIM（Subscriber Identity Module）カードに対応しています。 SIM スロットは、バッテリ ベイの中にあります。詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。
(3)	バッテリ/底面カバー ラッチ	バッテリをバッテリ ベイから取り外したり、コンピューターから底面カバーを取り外したりするときに使用します
(4)	通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)	底面カバー	ハードドライブ、メモリ モジュール スロット、SIM スロット（一部のモデルのみ）、および無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）モジュールが格納されています

3 HP QuickWeb（一部のモデルのみ）

お使いになる前に

[HP QuickWeb]環境では、たくさんのお気に入りの機能を楽しく利用できます。 [HP QuickWeb]が起動してから数秒以内でコンピューターが使用可能な状態になるため、インターネット、ウィジェット、およびコミュニケーション プログラムにすぐにアクセスできます。 [HP QuickWeb]を使用するには、QuickWeb ボタンを押します。その後、インターネットにアクセスしたり、[Skype]で連絡を取ったり、[HP QuickWeb]のその他のウィジェットを使用したりします。

[HP QuickWeb]のホーム画面には以下の機能が表示されます。

- Web ブラウザー：インターネットを検索および参照し、お気に入りの Web サイトへのリンクを作成します。
- Skype：VoIP（Voice over Internet Protocol）に対応した[Skype]アプリケーションを使用して通話します。 [Skype]では、一度に 1 人だけでなく複数の人と電話会議またはビデオ チャットを開催できます。 また、固定電話番号に長距離電話をかけることもできます。
- ウィジェット：ニュース、天気、ソーシャル ネットワーキング、株価、電卓、付箋などのウィジェットを使用します。 [ウィジェット マネージャー]を使用して、[HP QuickWeb]のホーム画面にウィジェットを追加することもできます。

注記： [HP QuickWeb]の使用方法について詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP QuickWeb]の起動

▲ [HP QuickWeb]を起動するには、コンピューターがオフになっているときまたはハイバネーション状態になっているときに QuickWeb ボタンを押します。

以下の表に、QuickWeb ボタンを押したときの動作を示します。

ボタン	ボタンの動作
QuickWeb ボタン	• コンピューターの電源が切れているときまたはハイバネーション状態のときにこのボタンを押すと、[HP QuickWeb]が起動します • コンピューターが Microsoft Windows を実行しているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します • コンピューターが[HP QuickWeb]を実行しているときにこのボタンを押すと、Web ブラウザーが起動します 注記： [HP QuickWeb]ソフトウェアがインストールされていないコンピューターでは、このボタンを押しても[HP QuickWeb]は起動せず、[HP QuickWeb]の操作や機能は実行されません

注記： 詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

4 ネットワーク

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用
- 無線ネットワークへの接続

注記： インターネット用ハードウェアおよびソフトウェア機能は、コンピューターのモデルおよびお使いの場所によって異なる可能性があります。

お使いのコンピューターは、以下のどちらか 1 つまたは両方のインターネット アクセスに対応できます。

- 無線：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。詳しくは、20 ページの「既存の無線 LAN への接続」または20 ページの「新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ」を参照してください。
- 有線：有線ネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。有線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用

インターネットに接続する前に、ISP のアカウントを設定する必要があります。 インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。 ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業へのサポートを提供しています。

注記： インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

以下の機能で、新しいインターネットのアカウントを作成するか、コンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定できます。

- **Internet Services & Offers（一部の地域で利用可能）**：このユーティリティでは、新しいインターネット アカウントのサインアップを実行したり、既存のアカウントを使用できるようにコンピューターを設定したりできます。 このユーティリティにアクセスするには、［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Shopping and Services**］（ショッピングおよびサービス）→［**Get Online**］（インターネットに接続）の順に選択します。
- **ISP 提供のアイコン（一部の地域で利用可能）**：これらのアイコンは、Windows デスクトップに個別に表示されるか、「オンライン サービス」という名前のデスクトップ上のフォルダーに格納されています。新しいインターネット アカウントをセットアップする、またはコンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定するには、アイコンをダブルクリックして、画面の説明に沿って操作します。
- **Windows のインターネットへの接続ウィザード**：以下の場合、Windows のインターネットへの接続ウィザードを使用してインターネットに接続できます。
  - すでに ISP のアカウントを持っている場合
  - インターネット アカウントを持っていないためウィザード内の一覧から ISP を選択する場合（ISP の一覧は地域によっては表示されない場合があります）
  - 一覧にない ISP を選択し、その ISP から特定の IP アドレス、POP3、SMTP 設定などの情報が提供された場合

  Windows のインターネットへの接続ウィザードおよびこのウィザードの使用手順を表示するには、［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ネットワークとインターネット**］→［**ネットワークと共有センター**］の順に選択します。

  注記： ウィザード内で Windows ファイアウォールの有効/無効を選択する画面が表示された場合は、ファイアウォールを有効にします。

無線ネットワークへの接続

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス
- HP モバイル ブロードバンド モジュール、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイス
- Bluetooth デバイス

無線技術および無線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、[ヘルプとサポート]の情報、および Web サイトへのリンクを参照してください。

既存の無線 LAN への接続

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
3. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
4. 接続先となるネットワークを選択します。
5. [**接続**]をクリックします。
6. 必要に応じて、セキュリティ キーを入力します。

新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ

以下の機器が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）（**2**）
- お使いの新しい無線コンピューター（**3**）

注記： モデムは内蔵ルーターに含まれている場合があります。ISP に問い合わせてモデムの種類を確認してください。

下の図は、インターネットに接続している無線 LAN ネットワークの設置例を示しています。お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

Windows オペレーティング システムでは、新しい無線ネットワークのセットアップに役立つツールも用意されています。Windows のツールを使用してネットワークを設定するには、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]→[**新しい接続またはネットワークのセットアップ**]→[**新しいネットワークのセットアップ**]の順に選択します。次に、画面の説明に沿って操作します。

注記： 最初にルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できたら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスできます。

無線 LAN の保護

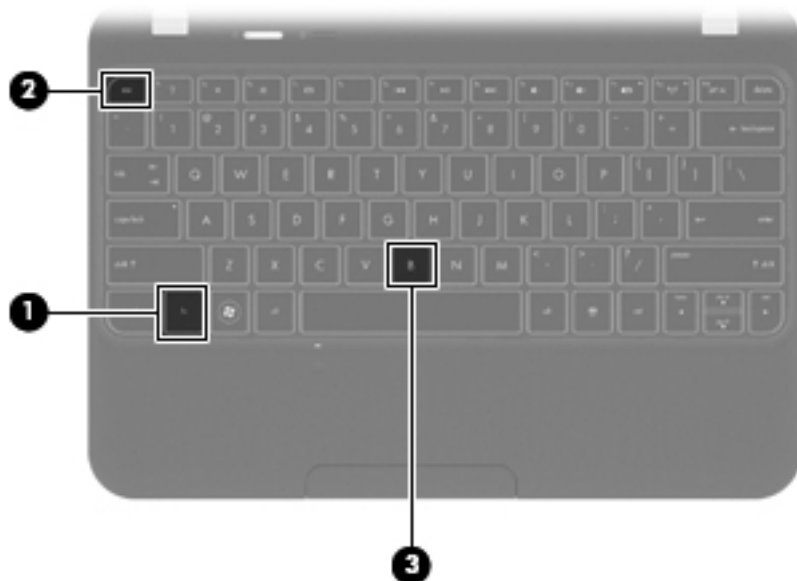
無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。

無線 LAN の保護について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

5　キーボードおよびポインティング デバイス

キーボードの使用

ホットキーの位置

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）または b キー（**3**）の組み合わせです。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

▲ fn キー（**1**）を短く押し、次にホットキーの組み合わせの 2 番目のキーを短く押します。

ホットキーの組み合わせ	説明
fn ＋ esc	システム情報を表示します
fn ＋ b	[HP Beats Audio]の低音設定を有効または無効にします（一部のモデルのみ） [HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ プロファイルです。 [HP Beats Audio]は、初期設定で有効に設定されています 低音設定の表示と調整は Windows オペレーティング システムでも行うことができます。 低音のプロパティを表示して調整するには、以下の操作を行います **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Beats Audio Control Panel]**（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択します

操作キーの使用

操作キーを押すと、割り当てられている機能が実行されます。 f1～f12 の各キーのアイコンは、操作キーに割り当てられている機能を表します。

操作キーの機能を使用するには、そのキーを押したままにします。

操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。 この機能は、セットアップ ユーティリティ（BIOS）で無効にできます。セットアップ ユーティリティ（BIOS）で無効にした場合は、fn キーを押しながら操作キーを押すことにより、標準設定で操作キーに割り当てられている機能を実行できま

す。 詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』の「セットアップ ユーティリティ（BIOS）およびシステム診断」の章を参照してください。

⚠ **注意：** セットアップ ユーティリティで設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。 設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

アイコン	キー	説明
?	f1	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムとコンピューターに関する情報、質問への回答とチュートリアル、およびコンピューターへのアップデート ファイルなどが提供されます また、自動トラブルシューティング ツールおよびサポート窓口へのアクセスも提供されます
☀	f2	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります
☀	f3	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります
	f4	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。 たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、このキーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。 この操作キーでは、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
	f6	オーディオ CD の前のトラック、または DVD や BD の前のチャプターを再生します
	f7	オーディオ CD のトラック、または DVD や BD のチャプターを再生、一時停止、または再開します
	f8	オーディオ CD の次のトラック、または DVD や BD の次のチャプターを再生します
	f9	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	f10	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	f11	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	f12	無線機能をオンまたはオフにします **注記：** 無線接続を確立するには、事前に無線ネットワークがセットアップされている必要があります

ポインティング デバイスの使用

注記：　お使いのコンピューターに付属しているポインティング デバイス以外に、外付け USB マウス（別売）をコンピューターの USB コネクタのどれかに接続して使用できます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ポインティング デバイスの設定、ボタンの構成、クリックの速度、およびポインター オプションをカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[**スタート**]→[**デバイスとプリンター**]の順に選択します。 次に、一覧からお使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[**マウス設定**]を選択します。

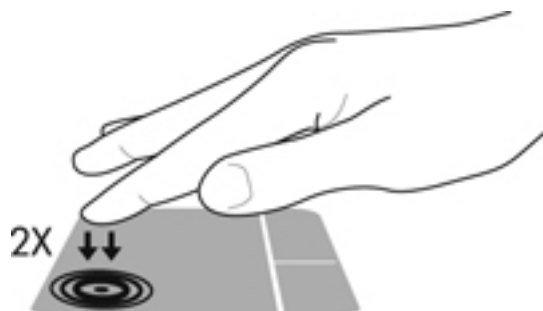
タッチパッドの使用

注記：　お使いのコンピューターのタッチパッドは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。 お使いのコンピューターのタッチパッドに関する固有の情報については、5 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。 タッチパッドの左右のボタンは、外付けマウスのボタンと同様に機能します。

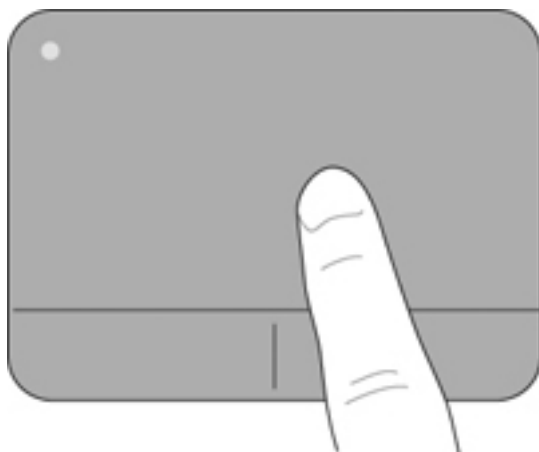
タッチパッドのオフ/オンの切り替え

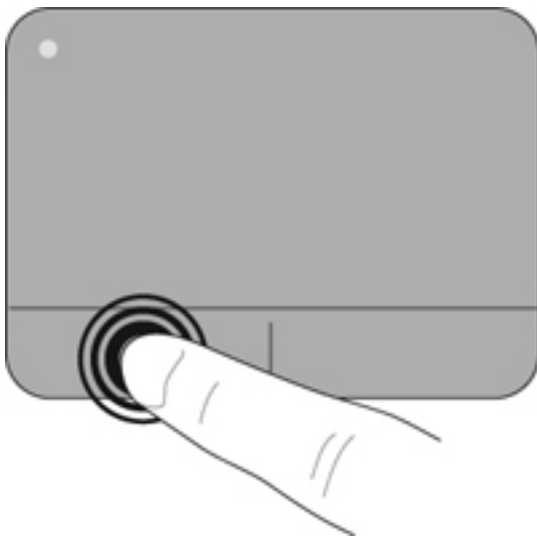
タッチパッドをオフまたはオンにするには、タッチパッド オン/オフ ボタンをすばやくダブルタップします。

注記： タッチパッドがオンになっているときは、タッチパッド ランプが消灯しています。

タッチパッド ランプおよび画面に表示されるアイコンは、タッチパッドがオフまたはオンになっているという状態を示します。 以下の表に、画面に表示されるタッチパッドのアイコンおよびその意味を説明します。

タッチパッド ランプ	アイコン	説明
オレンジ色		タッチパッドがオフになっていることを示します
消灯		タッチパッドがオンになっていることを示します

移動

ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。

選択

タッチパッドの左右のボタンは、外付けマウスの対応するボタンと同様に機能します。

タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッドでは、さまざまな種類のジェスチャがサポートされています。 タッチパッド ジェスチャを使用するには、2 本の指を同時にタッチパッド上に置きます。

注記： プログラムによっては、一部のタッチパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

ジェスチャのデモンストレーションを確認するには、以下の操作を行います。

1. ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**Synaptics**］（シナプティクス）→［**Settings**］（設定）の順に選択します。
2. ジェスチャをクリックし、デモンストレーションを開始します。

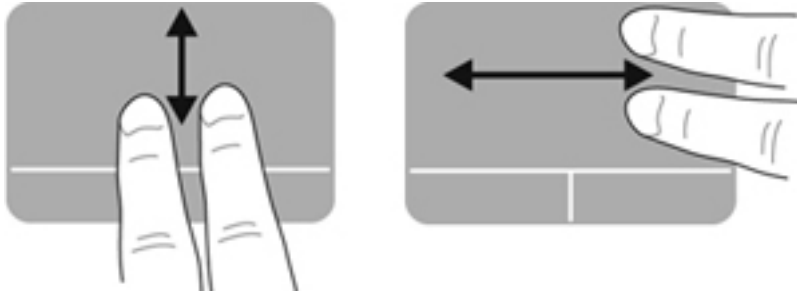
ジェスチャのオン/オフを切り替えるには、以下の操作を行います。

1. ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**Synaptics**］→［**Settings**］の順に選択します。
2. オンまたはオフにするジェスチャの横にあるチェック ボックスにチェックを入れます。
3. ［**適用**］→［**OK**］の順にクリックします。

スクロール

スクロールは、ページや画像を上下左右に移動するときに便利です。スクロールするには、2 本の指を少し離してタッチパッド上に置き、タッチパッド上で上下左右の方向にドラッグします。

注記： スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

注記： 2 本指スクロールは、出荷時に有効に設定されています。

ピンチ/ズーム

ピンチを使用すると、画像やテキストをズームインまたはズームアウトできます。

- タッチパッド上で 2 本の指を一緒の状態にして置き、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームインできます。
- タッチパッド上で 2 本の指を互いに離した状態にして置き、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウトできます。

注記： ピンチ/ズーム ジェスチャは、出荷時の設定で有効に設定されています。

6 メンテナンス

バッテリの着脱

注記： バッテリの使用方法について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

バッテリの装着

バッテリを装着するには、以下の操作を行います。

▲ バッテリをバッテリ ベイの外側の縁に合わせてから（**1**）、バッテリを回転させるようにしてバッテリ ベイに挿入し（**2**）、しっかりと収まるまで押し込みます。

バッテリの取り外し

バッテリを取り外すには、以下の操作を行います。

注意： コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、情報が失われる可能性があります。 バッテリを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

1. バッテリ/底面カバー ラッチをスライドさせて（**1**）、バッテリの固定を解除します。

2. バッテリを回転させるようにして引き上げて（**2**）、コンピューターから取り外します（**3**）。

ハードドライブの交換またはアップグレード

⚠ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

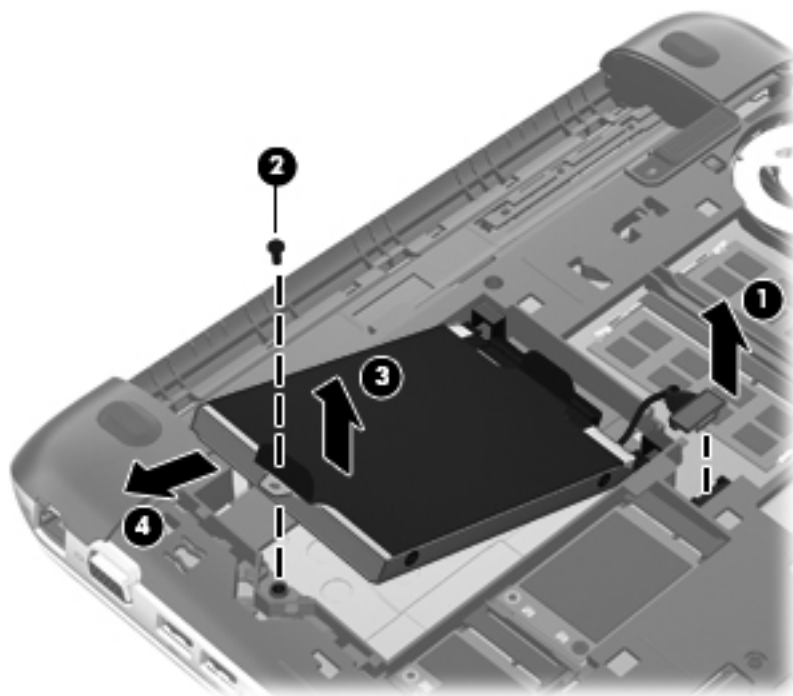
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

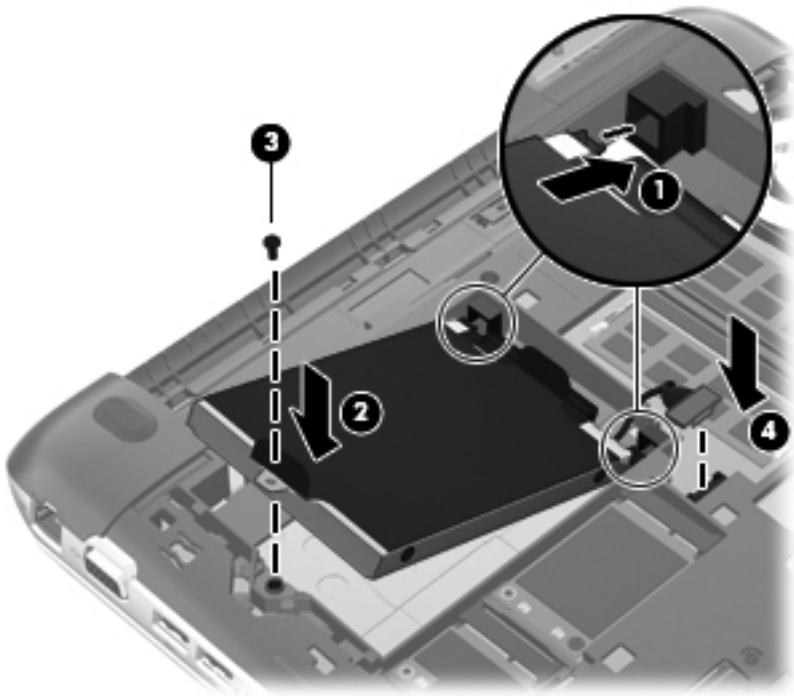
ハードドライブの取り外し

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを電源コンセントから取り外し、バッテリを取り外します。
4. バッテリ/底面カバー ラッチをスライドさせて（**1**）、底面カバーの固定を解除します。
5. 底面カバーをコンピューターの前方に向けてスライドさせて（**2**）、カバーを持ち上げて取り外します（**3**）。

6. ハードドライブ コネクタ ケーブルを持ち上げて（**1**）、コンピューターから取り外します。
7. ハードドライブをコンピューターに固定しているネジ（**2**）を取り外します。

8. ハードドライブ タブを引き上げ（**3**）、ハードドライブを傾けながらハードドライブ ベイから取り出します（**4**）。

ハードドライブの取り付け

1. ドライブのゴムのスペーサーをハードドライブ ベイの開口部に挿入します（**1**）。
2. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**2**）。
3. ネジ（**3**）を取り付けなおします。

4. ハードドライブ コネクタ ケーブルを接続します（**4**）。

5. 底面カバーをコンピューターに向かって下ろし（**1**）、バッテリ ベイの方向にスライドさせて、バッテリ/底面カバー ラッチがカチッと音がするまで押し込んで固定します（**2**）。

6. バッテリを取り付けなおします。
7. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。
8. コンピューターの電源を入れます。

メモリ モジュールの追加または交換

お使いのコンピューターには､2 つのメモリ モジュール スロットが装備されています。 コンピューターのメモリ容量を増やすには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

注意： 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注記： 2 つ目のメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2 つのメモリ モジュールを必ず同一のものにしてください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

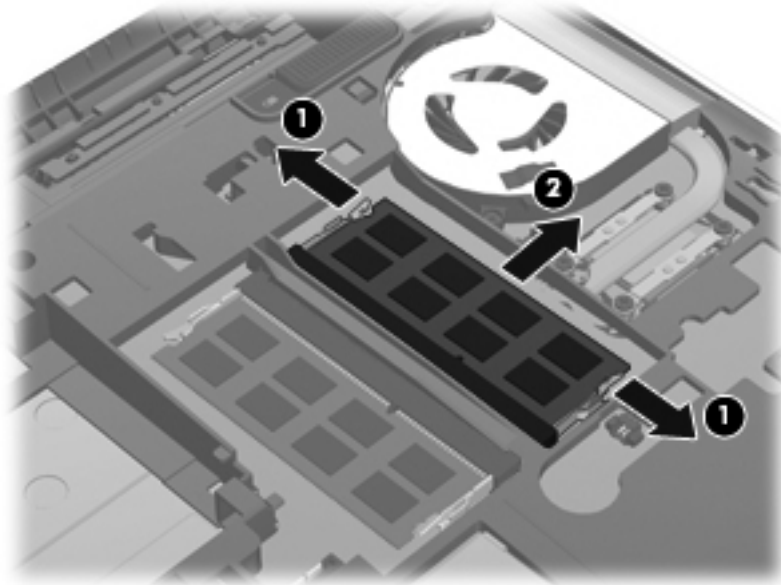
注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

メモリ モジュールを追加または交換する前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、メモリ モジュールを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを電源コンセントから取り外し、バッテリを取り外します。
4. 底面カバーを取り外します（32 ページの「ハードドライブの取り外し」を参照してください）。
5. メモリ モジュールを交換する場合は、装着されているメモリ モジュールを取り外します。
   a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります（**1**）。 メモリ モジュールが少し上に出てきます。

b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上にメモリ モジュールを引き抜いて（**2**）取り外します。

注意： メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

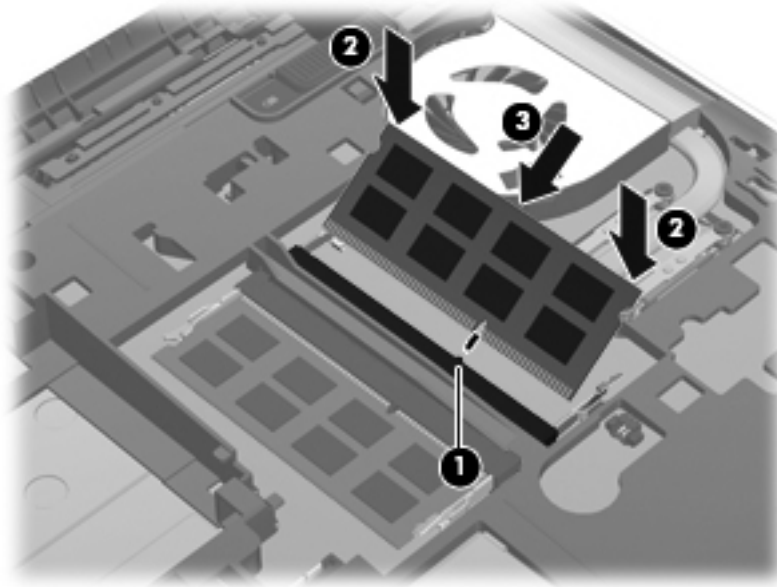
6. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

注意： メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット（**1**）を合わせます。

b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを折り曲げないでください。

7. 底面カバーを取り付けなおします（33 ページの「ハードドライブの取り付け」を参照してください）。
8. バッテリを取り付けなおします。
9. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

7 バックアップおよび復元

お使いのコンピューターには､オペレーティング システムに付属のツールおよび HP が提供しているツールが含まれています。これらを使用すると障害発生時に情報を保護および復元できます。

この章には、以下のトピックに関する情報が含まれています。

- リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブの作成（[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアの機能）
- （復元用パーティション、リカバリ ディスク、またはリカバリ フラッシュ ドライブからの）システムの復元の実行
- 情報のバックアップ
- プログラムまたはドライバーの復元

復元

ハードドライブに障害が発生した場合にシステムを工場出荷時の状態に復元するには、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して作成できるリカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブが必要になります。 ソフトウェアをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]を使用して、リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成することをおすすめします。

その他の理由からシステムを復元する必要がある場合は、HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用して復元できます。この場合、リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは必要ありません。 復元用パーティションの有無を確認するには、[**スタート**]をクリックし、[**コンピューター**]を右クリックして[**管理**]→[**ディスクの管理**]の順にクリックします。 復元用パーティションがある場合、ウィンドウにリカバリ ドライブが表示されます。

注意： [HP Recovery Manager]（パーティションまたはディスク/フラッシュ ドライブ）は、工場出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみを復元します。 このコンピューターにインストールされていなかったソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。

注記： 復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。

復元メディアの作成

ハードドライブに障害が発生した場合または何らかの理由で復元用パーティション ツールを使用して復元できない場合に、コンピューターを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成しておくことをおすすめします。 リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して作成できるリカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、1 セットのみです。 リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。

注記： お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが内蔵されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。 外付けオプティカル ドライブを使用する場合は、USB ハブなどの他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、コンピューター本体の USB コネクタに直接接続する必要があります。

ガイドライン：

- 高品質な DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクを購入してください。

  注記： [HP Recovery Manager]ソフトウェアは、CD-RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブは、1 台のコンピューターに対して 1 セットのみ作成できます。

注記： リカバリ ディスクを作成する場合は、各ディスクに番号を付けてからオプティカル ドライブに挿入します。

- 必要に応じて、リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。 次回[HP Recovery Manager]を起動すると、バックアップ作成プロセスを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

リカバリ ディスク セットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Security and Protection]**（セキュリティと保護）→**[HP Recovery Manager]**（HP リカバリ マネージャー）→**[HP Recovery Media Creation]**（HP リカバリ メディアの作成）の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

システムの復元の実行

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアを使用して、コンピューターを工場出荷時の状態に修復または復元できます。 [HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスク、リカバリ フラッシュ ドライブ、またはハードドライブ上の専用の復元用パーティション（一部のモデルのみ）から実行できます。

注記： コンピューターのハードドライブに障害が発生した場合や、コンピューターの動作上の問題を修正しようとする試みがすべて失敗した場合は、システムの復元を実行する必要があります。 システムの復元は、コンピューターの問題を修正するための最後の手段として試みてください。

システムの復元を実行する場合は、以下の点に注意してください。

- システムの復元は、以前バックアップを行ったシステムに対してのみ可能です。 コンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]を使用してリカバリ ディスクのセットまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成することをおすすめします。
- Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。 これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。
- [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。 このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクなどを使用して、別途、再インストールする必要があります。

専用の復元用パーティションを使用した復元（一部のモデルのみ）

専用の復元用パーティションを使用する場合は、復元処理中にオプションでバックアップを実行できます。画像、音楽およびその他のオーディオ、ビデオや動画、録画したテレビ番組、ドキュメント、スプレッドシートおよびプレゼンテーション、電子メール、インターネットのお気に入りおよびインターネット設定をバックアップできます。

復元用パーティションからコンピューターを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）にアクセスします。
   - ［スタート］→［すべてのプログラム］→［**Security and Protection**］（セキュリティと保護）→［**HP Recovery Manager**］（HP リカバリ マネージャー）→［**HP Recovery Manager**］の順に選択します。

     または

   - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。 次に、画面に[F11 (System Recovery)]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
2. ［**HP Recovery Manager**］ウィンドウの［**System Recovery**］（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

復元メディアを使用した復元

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをお使いのコンピューターのオプティカル ドライブまたは別売の外付けオプティカル ドライブに挿入してから、コンピューターを再起動します。

   または

   お使いのコンピューターの USB コネクタにリカバリ フラッシュ ドライブを挿入してから、コンピューターを再起動します。

注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）でコンピューターが自動的に再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更する必要があります。

3. システムの起動時に f9 キーを押します。
4. オプティカル ドライブまたはフラッシュ ドライブを選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

コンピューターのブート順序の変更

リカバリ ディスクのブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを再起動します。
2. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
3. [Boot options]（ブート オプション）ウィンドウで、[**Internal CD/DVD ROM Drive**]（内蔵 CD/DVD ROM ドライブ）を選択します。

リカバリ フラッシュ ドライブのブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. フラッシュ ドライブを USB コネクタに挿入します。
2. コンピューターを再起動します。
3. コンピューターの再起動中に esc キーを押してから、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
4. [Boot options]ウィンドウで、フラッシュ ドライブを選択します。

情報のバックアップおよび復元

ファイルをバックアップして新しいソフトウェアを安全な場所に保管することは、非常に重要です。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にバックアップを作成しておくようにします。

システムをよりよく復元するためには、より新しいバックアップが必要です。

注記： コンピューターがウィルスの攻撃を受けている場合や、主要なシステム コンポーネントが故障した場合は、最新のバックアップから復元を実行する必要があります。 コンピューターの問題を修正するには、システム全体の復元を試みる前に、まずバックアップを使用した復元を試みてください。

情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。 以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的にスケジュールされた時刻

  ヒント： 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

ガイドライン：

- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にオプティカル ディスクまたは外付けハードドライブにコピーします。システムの復元ポイントの使用方法について詳しくは、44 ページの「Windows システムの復元ポイントの使用」を参照してください。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーン ショット（画面のコピー）を撮って保存します。 設定をもう一度入力する必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。

スクリーン ショットを作成するには、以下の操作を行います。

1. 保存する画面を表示させます。
2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

   アクティブなウィンドウだけをコピーするには、alt ＋ prt sc キーを押します。

   画面全体をコピーするには、prt sc キーを押します。
3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して[**編集**] → [**貼り付け**]の順に選択します。画面のイメージが文書に追加されます。
4. 文書を保存して印刷します。

Windows の[バックアップと復元]の使用

ガイドライン：

- お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。
- 処理完了まで十分な時間の余裕があるときにバックアップ処理を行います。ファイル サイズによっては、処理に 1 時間以上かかる場合があります。

バックアップを作成するには、以下の操作を行います。

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**バックアップと復元**]の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップのスケジュール設定とバックアップの作成を行います。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

Windows システムの復元ポイントの使用

システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。復元ポイント作成後に変更を破棄したい場合に、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

注記： 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアまたはハードウェアを追加/変更する前
- コンピューターが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

注記： 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。
3. [**システムの保護**]タブをクリックします。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. [**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**システム**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**システムの保護**]をクリックします。
3. [**システムの保護**]タブをクリックします。
4. [**システムの復元**]をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

8　サポート窓口

サポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイド、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、または[ヘルプとサポート]で提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の HP サポート窓口または『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されているサポート窓口にお問い合わせください。

http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html

注記： 日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ここでは、以下のことを行うことができます。

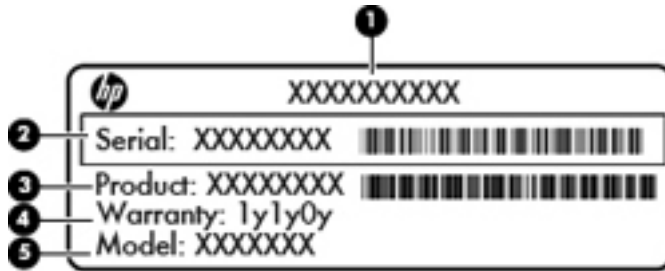
- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする。

  注記： 特定の言語でサポート窓口とのチャットを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- HP のサポート窓口に電子メールで問い合わせる。
- 各国の HP のサポート窓口の電話番号を調べる。
- HP のサービス センターを探す。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- シリアル番号ラベル：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。

名称	
(1)	製品名
(2)	シリアル番号
(3)	製品番号
(4)	保証期間
(5)	モデルの説明

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。 シリアル番号ラベルは、バッテリ ベイ内に貼付されています。

- Microsoft Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。 プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。 Microsoft Certificate of Authenticity は、バッテリ ベイの中に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。 規定ラベルは、バッテリ ベイ内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。 日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。 無線デバイスを 1 つ以上使用している機種には、認定ラベルが 1 つ以上貼付されています。 無線認定/認証ラベルは、底面カバーの裏に貼付されています。
- SIM（Subscriber Identity Module）ラベル（一部のモデルのみ）：SIM の ICCID（Integrated Circuit Card Identifier）が記載されています。 このラベルは、底面カバーの裏に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ）：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。 このラベルは、底面カバーの裏に貼付されています。

9 仕様

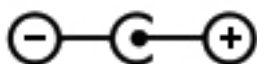
入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。 AC 電源は 100～240 V（50/60 Hz）の定格に適合している必要があります。 コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧と電流	18.5 V DC（3.5 A、65 W の場合）

HP 外部電源用 DC プラグ

注記： この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	メートル	U.S.
温度		
動作時	**5～35°C**	41～95°F
非動作時	**-20～60°C**	-4～140°F
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	**10～90%**	10～90%
非動作時	**5～95%**	5～95%
最大標高（非与圧）		
動作時	**-15～3,048 m**	-50～10,000 フィート
非動作時	**-15～12,192 m**	-50～40,000 フィート

索引

め

ら

り